

福島・裏磐梯に行ってきました！ ～1年生の宿泊体験学習～

8月23日から2泊3日で、福島県裏磐梯高原を舞台に「自然に触れ、自然から学ぶ時間」「命を守る学び～震災学習～」を実施して参りました。

福島も、栃木同様雨・雨・雨…の8月。子ども達が訪ねた裏磐梯も、ご多分に漏れず、3日間雨に見舞われました。でも、子ども達は愚痴も言わず、我が儘も言わず、たくさんの笑顔で元気に過ごしてくれました。

<1日目> ウォークラリー・キャンプファイヤー

元気よく出発した25班の子ども達は、約2時間半から3時間のコースを見事踏破し、笑顔でゴールしました。先生方の作った問題を解きながら、豊かな自然に囲まれ、日頃話せない、様々な話に花が咲いたことでしょう。



ひとしきり振った雨が上がり、楽しいキャンプファイヤーのひと時が過ぎせました。雄国山から来た火の神様から、クラス毎に、希望、友情、勇気、奉仕、感謝の火を頂きました。みんなで猛獣狩りを行い、合唱もし、生徒企画のキャンプファイヤーは大いに盛り上がりました。



< 2日目 > 五色沼散策・野口英世生家及び記念館見学

毎日降り続いた雨の影響もあり、雄国沼へのハイキングから五色沼の散策へと変更しました。途中、雨にも降られ、合羽やポンチョを着ての散策となりましたが、各クラスについての山のガイドさんたちがとても丁寧に説明して下さり、思いっきり自然を満喫しました。きれいなエメラルドグリーン沼に歓声をあげたり、赤松が多い理由に納得したり、ここ裏磐梯の歴史を知ることもできました。

午後は野口英世博士の生家と記念館を訪ね、その足跡を学びました。強い意志を持って、己の使命と考える道を切り拓いていく強さを教えて頂きました。白衣を着用し、ひげをつけて野口博士になりきる体験を行ったり、展示を見学し生涯を学びました。



野口英世記念館にて



< 3日目 > 檜原湖遊覧・災害対応プログラム

前日夜から降り続いた雨の中、檜原湖遊覧にでかけました。霧に煙る檜原湖でしたが、遊覧船の方々のご好意で、工夫した航路での船旅となりました。どんな状況でも子ども達は、楽しむことの天才！笑顔で檜原湖を後にしました。



宿舎に戻ってからは、初めて取り入れた「災害対応プログラム」に取り組みました。被災地の方々のお役に立てるように…と支援を中心に進めてきた震災学習も転換期を迎えています。いつか、災害に見舞われた時、自分の命を守り、誰かの命を守れるように…福島の方々からいろいろなことを学ばせて頂くことにしました。火おこしの方法、水を汲み運ぶ方法、テントトイレの体験、テントの張り方、そして災害時の心構えなどたくさんのことを教えて頂きました。子ども達は大人になります。どんな状況下でも逞しく生き抜く知恵と命を守る術をこれからも身に付けていって欲しいと思います。私たち学年が子ども達に贈るプレゼントの1つになればと思っています。



*非常時を想定し、子ども達はクラスや男女の枠をすべてに外したグループでの活動にしました。

今回は、お世話になった福島の皆様に自分達で手作りしたアレンジメントを贈りました。花の一つ一つは、みんなで作ったものです。

